

2018 高岡万葉セミナー

大伴家持歌 をよむ

II

期日

平成30年 9月8日 土 10:20~16:15

◆会場：高岡市万葉歴史館・講義室

◆受講料：3,000円（学生1,000円）

◆定員：先着120名

※周辺に食堂がありませんので、8日(土)は昼食をご持参いただくか、1週間前までに昼食 弁当(1,000円)をお申し込みください。

※8日(土)のセミナー終了後に、ジャンボタクシーを運行します。(無料)
ジャンボタクシーは、セミナー終了後に開催する秋の特別企画展「田村泰秀万葉拓本展」の展示解説(約30分)の終了後の17:00前頃に万葉歴史館を出発します。

【万葉歴史館→伏木駅経由→高岡駅】ジャンボタクシーご利用の方は、セミナーお申し込み時にあわせてお知らせ願います。

◆申し込み方法

「高岡万葉セミナー受講希望」と書き、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・8日(土)昼食 弁当の申し込みの有・無を記載の上、ハガキ・電話・FAX・E-mailなどで下記にお申し込みください。高岡市万葉歴史館受付でもお申し込みができます。受講料は、当日受付でお支払いください(おつりのないようご注意ください)。

※お申し込みいただいた方は、当日、当館講義室へお越しください。

(受講確認のハガキはお送り致しません)

※お申し込みの際の個人情報は、セミナー日程等の変更が生じた際の通知にのみ使用します。これ以外の目的に使用する事はありません。

第1講 越の国の歌だより—書儀・書簡と家持の和歌—

おくむら かずみ
奥村 和美 (奈良女子大学教授)

第2講 「雲の歌」をめぐる

てつ の まさひろ
鉄野 昌弘 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

第3講 「大伴家持用字圏」その後

いぬい よしひこ
乾 善彦 (関西大学教授)



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11
TEL:0766-44-5511 FAX:0766-44-7335
E-mail:manreki@takaoka-bunka.com
URL:http://www.manreki.com

同時開催

秋の特別企画展
「田村泰秀万葉拓本展」

会期：9月5日(水)～10月22日(月)

江戸時代に建立された古歌碑の拓本を展示し、写真・キャプションで万葉歌碑の建立地と歌を紹介いたします。

大伴家持歌をよむ Ⅱ

9月8日(土)

10:20~16:15

10:20~10:30 オリエンテーション・開講式

10:30~12:00 第1講 越の国の歌だよりー書儀・書簡と家持の和歌ー

おくむら かずみ
奥村 和美 (奈良女子大学教授)

大伴家持は越中守在任中、和歌表現の様々な新しい試みを行っています。大伴池主との贈答で、和歌に書簡や漢詩を添える形式を用いるのはその一つです。また、漢文で書かれた書儀(書簡の実用的な手本)や書簡の語句を、和語に翻訳して和歌に取り入れることにも積極的でした。本講では、都で待つ大伴坂上郎女に贈った和歌を中心に、家持における書儀・書簡の受容のありようを表現に即して具体的に読み解いていきます。



12:00~13:00 昼食

13:00~14:30 第2講 「雲の歌」をめぐる

てつの まさひろ
鉄野 昌弘 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

「雲の歌」(18-四一二二~四)は、天平感宝元年(七四九)、越中において、所謂「出金詔書」を契機に、続々と制作された長歌作品群の中にある。早害を憂慮するその歌は、「史生尾張少作を教諭する歌」(四一〇六~九)と同じく、為政者としての家持を表すが、既に指摘のあるように、「天人相関思想」の受容という側面がある。孝謙女帝への譲位を間近にしたこの時期、この歌と、続く「雨落るを賀する歌」の持った意味について考えたい。



14:30~14:45 休憩

14:45~16:15 第3講 「大伴家持用字圏」その後

いぬい よしひこ
乾 善彦 (関西大学教授)

「大伴家持用字圏」とは、古屋彰『万葉集の表記と文字』(1998、和泉書院)に提示された、万葉集仮名書歌巻の用字から、集末四巻の仮名の用字と訓字主体表記歌巻の家持歌の用字とから、家持自身の用字傾向を導いたものである。しかし、その後、これについて議論された形跡はない。そこで現在の水準にそってこれを検証し個人的な営みと万葉集全体の表記史上の位置との関係から、「家持の用字法」について考えてみたい。

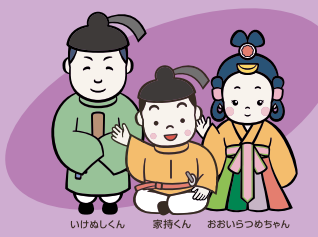


交通のご案内



- 最寄り駅・JR氷見線 伏木駅から
【当館までの距離約1.5km】タクシーで約5分、徒歩約25分
- JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から
【バス】加越能バス伏木方面(西回り)、伏木方面(東回り)のいずれかに乗車(約30分)し、「伏木の宮」バス停で下車、徒歩約7分
【タクシー】約20分
※「北陸新幹線 新高岡駅」と「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、10分間隔でバス便があります(所要時間約10分)
- お車で
【能越自動車道】高岡北インターから約20分、高岡インターから約25分
【北陸自動車道】小杉インターから約35分、高岡砺波スマートインターから約35分

歴史館の最新情報、日々の出来事はこちら!



- ツイッター
家持くん @manreki
おおいらつめちゃん @oiratsume
いけぬし君 @ikenushi
万葉人・高岡市万葉歴史館館長 @akahitomusimaro